

彩雲

あ や ぐ も

AYAGUMO

2020

vol.
123

発行日 2月20日



学校法人安城学園 安城学園高等学校

〒446-0036 安城市小堤町4-25 TEL.0566-76-5105(代) <http://www.angaku.jp/>

Contents

- 1 巻頭言
- 2 卒業生へのメッセージ
- 3-4 響きあうまちと学校
- 5-6 11～1月の行事
- 7-10 クラブ活動報告
- 11 TOPICS

principal
speech

巻 頭 言

「この世で生き残る生物は、
最も頭の良い生き物でも、最も強い生き物でもなく、
最も変化に対応できる生き物だ。」
(イギリスの自然科学者:チャールズ・ダーウィン)

上記の言葉は、ダーウィン自身が残した訳ではなく、彼の代表的な著書:『進化論』を解釈する過程で生まれたと言われている言葉です。

自然界・生物界では、生態的条件や環境などによりよく適合するものは生存し続け、そうでない劣勢なものは自然に滅びていく、つまり変化に対応できないと自然淘汰されてしまうという意味です。

このことは現代社会でも同じではないでしょうか。いつも、始終業式の式次の中で、生徒の皆さんに「世界・日本がどのように動き変わるのか、自分の周り・地域・世界の動きに興味を持ち、敏感に感じることの出来る高校生になってほしい」と訴えているように、変化を受け入れ、新しい時代に挑戦する勇気こそ、自分の成長の原動力ではないでしょうか。いつまでも、過去の成功や習慣にとらわれていると、やがて淘汰されてしまいます。日々刻々と変化する世の中に対応できる人が生き残るのです。

昔に比べ現代社会は、はるかに速く目まぐるしく変化していると考えられます。そうした世の中で、絶えず自分自身のスキルや能力などを鍛えて磨き上げる必要があるのではないのでしょうか。しかし、焦る必要はないと思います。そうしたことを意識して生きることが必要なのではないのでしょうか。

皆さんも、最も変化に対応できる生き物として、これからの人生を生き抜いていって下さい。

何かと目まぐるしく変化する現代社会の中で、新しい年を迎えるにあたって…



安城学園高等学校
学校長 関 神一

卒業生へのメッセージ



3年学年主任
金本 勢一郎

3年生のみなさん、保護者のみなさま、卒業おめでとうございます。

2017年の春、みなさんの多くはまだ義務教育の余韻が残る緊張した面持ちで入学式を迎えました。高校には、地元を離れて電車やバスで通う生徒、部活動に没頭する生徒、勉強を頑張る生徒、留学をする生徒がいます。クラスで頑張る生徒、学年を引っ張る生徒、クラスも学年も越えて自主活動に参加する生徒、静かだけれどリーダーを支える生徒がいます。外国籍の生徒、ピアノが弾ける生徒、ヴァイオリンを弾く生徒、トランペットが得意な生徒、絵が上手な生徒、字がきれいな生徒がいます。足が速い生徒、力が強い生徒、コツコツと努力する生徒、瞬発力に優れた生徒、歌がうまい生徒がいます。実に様々でカラフルな君たちです。

あれから3年が過ぎ、みなさんの成長には驚かされるばかりです。

安城学園には、いろいろな生徒がいます。活躍できる場がたくさんあり、いろいろなコースが用意されています。判りにくかったり混乱したりするときもあったかと思いますが、この多様性こそが安城学園の良いところなのだと思います。また、みなさんがぐくり抜けた思春期は、一人で生きるための自律性を獲得するために中学校までで身につけたものとは真逆の行動をとったり、一人では不安なので友人と一緒に行動することで親からの自立を図ったり、一見矛盾しているように見える態度をとったりと、体だけでなく心も大人に成長する不安定な時期でもありました。みなさんが経験した混乱や怒りや戸惑い、喜びや笑いや愛のいくつかは、大人になるために不可欠なものであったのでしょう。

わたしは担任の先生たちに渡す毎朝の連絡事項をまとめたメモに、様々な名言を一年間載せていました。生徒みんなに、先生たちに、時にはある生徒に向けて、あるいはクラスに向けて言葉を選びました。それで分かったのは、実にいろいろな表現があるけれど、基本的には皆いくつかの同じ事を伝えようとしているのだということです。本当に大切なことは、そんなにたくさんあるわけではありません。けれどあなたに伝えるためにいろんな方法や表現をとるのです。「教師や親が言うことなんて」と思うかもしれませんが、ありふれた言葉だからといって真実ではないとは限りません。どんなことから何かを学ぶ取る姿勢を持って欲しい、発言や行為の中に善意や優しさをくみ取る想像力と慎重さを持って欲しいと願っています。安城学園は「考え続けること」を大切にしています。「自由」であるために絶対必要であるからです。「自由」とは、一番大切なもののうちの一つであり、慎重に守らなければならないものの一つです。

さて、とうとう卒業式となりました。思春期が終わり、社会の中で新たなステージが始まります。本校で学び体験したことが、苦しみや悩みを減らすことはできなくても、ほんの少しでもハッピーに生きる助けになることを祈っています。

幼児教育学者フリードリヒ・ウメーベルが幼稚園児や療育施設の子たちにいつも最後に伝える言葉があります。高校を卒業するみなさんには幼い表現ではありますが、あえてそのままでの言葉で伝えたいと思います。

自分のことは自分でできるようにしましょう。
好き嫌いなく何でも食べられるようになりましょう。
人の嫌がることはしてはいけないよ。
叩いたり蹴ったりしてはいけません。
病院や電車など、人が集まる場所で大きな声は出しません。
できないとき、分からないときには、
「わかりません」「手伝って」と言えるようになりましょう。
好きな人、好きなもの、好きな場所をたくさん見つけてくださいね。
あなたはもちろん、みんな誰かの大切な人です。

一緒にこの世界をより良いものにしていきましょう。
ともに生きましょう。



響きあう

まちと学校



吹奏楽部

桜町小学校 クリスマスコンサート

2019年12月7日

桜町小学校 クリスマスコンサート

普通科 2年5組

福田 京

刈谷東中学校出身

私たち安城学園吹奏楽部は、今年も桜町クリスマスコンサートに出演させていただきました。コンサートでは「ディズニー楽器紹介(ミッキー・マウス)」「名探偵コナン」「男サー(クリスマスver)」などの曲を演奏し、たくさんの方々に音楽をお届けすることができました。手拍子をしてくれたり、一緒に踊ってくれたりするお客様もあり、盛り上がることができました。これからも地域の方々に愛されるバンドを目標とし練習に励みたいと思います。



合唱部

デンパーク クリスマスコンサート

2019年12月21日

デンパーク クリスマスコンサート

普通科 3年4組

辰巳 桃花

竜神中学校出身

私たち合唱部は、毎年デンパークでクリスマスコンサートを行わせていただいています。昨年は花の大温室フローラルプレイス内での発表でしたが、今年は花木園プラザ内特設ステージでの発表でした。外での発表でしたが、「あわてんぼうのサンタクロース」「サンタが街にやってくる」などのクリスマス定番曲をたくさんの人と楽しむことができました。これからも音楽を通してたくさんの人とふれあっていきたいと思います。



弦楽部

アンフォーレ クリスマスコンサート

2019年12月25日

人と音楽

普通科 3年2組

吉田 伊吹

知立中学校出身

今年はアンフォーレでクリスマスコンサートを行うことができました。「展覧会の絵」という難しい曲やクリスマスの曲がメドレーとなっている「クリスマス・フェスティバル」など、様々な曲を演奏しました。多くの方が演奏を聴いて、たくさんの拍手をしてくださり、地域の方の温かさを感じました。これからも多くの方から応援され、聴きにきてくれた方が楽しめるような演奏を心がけて練習に励んでいきます。



東日本から学ぶプロジェクト 東北ボランティア活動

男子サッカー部による9度目の東北ボランティア活動

2019年12月26～29日まで、今回で9度目となる東日本大震災の復興ボランティアに参加させていただきました。

日程と 主な内容

【12月27日】

大島見学
気仙沼伝承館見学
ともしびプロジェクト
南三陸町震災復興祈念公園見学
キャンドル工房にてキャンドル製作・講話
南三陸ホテル観洋伊藤さんによる講話

【12月28日】

大川小学校見学
海に見える命の森プロジェクト参加

現地でないとみえないもの。

男子サッカー部顧問 蔵野辰徳

今年で、男子サッカー部は9回目の東北ボランティアになりました。今年の事前学習は先輩たちに話に来てもらいました。9年間繋がれてきた伝統を生徒たちは感じる事が出来ました。今年は、震災直後に宮城県に移住された杉浦さんの話から始まり、気仙沼の伝承館、南三陸語り部バス、大川小学校を今も取材されて

いる多摩大学教授の話など多くの視点から東日本大震災を学ぶことが出来ました。生徒は、震災学習を通して「生き方」を学ぶことが出来たのではないかと思います。今年もこのような貴重な機会をいただけたことに感謝します。ありがとうございました。

自分がこれからしなければならぬこと

普通科 1年5組

安藤 来玖

朝日中学校出身

震災から8年経っているので、正直街は色々なお店があって安城と変わらないだろうなと思っていた。しかし、バスから見た景色は自分が思っていた様子とは違い、何も

なかった。とはいえ、津波のイメージは伝承館に行くまであまりわからなかった。伝承館で映像を見て建物ごと飲み込むとてつもない高さの津波だと知り、恐怖を感じた。今回、ボランティアに行ったら自分がこれからしなければならぬことが5つあると感じた。1、忘れないこと 2、色々な角度から考えること 3、自分の命を大切にすること 4、人との関わりを大切にすること 5、早く判断すること

被災地の人が「忘れないでほしい」といったこの言葉の重みを感じ、生活していきたい。

インターネットの情報を鵜呑みにしない

普通科 1年8組

坪根 光寿

城北中学校出身

大川小学校へ実際に行ってみて自分が想像していたよりも裏山が近く、高台へ行く道は遠かったのも、なぜあのような判断をしたのだろうと写真で見た時よりも疑問が深

まった。インターネットで詳しく知らない人たちが批判したり、分かったようなことを言ったりしているのは、良くないと感じた。裏山の方に逃げない判断や裁判での親御さんの言い分などただネットに書かれていることを鵜呑みにして文句を言うのはおかしいと思った。被害にあった場所に実際に行き、その光景を自分の目で見てもらいたいと感じることが出来たので、本当に勉強になった。



11月～1月の行事

日本史セミナー

2019年11月16日・17日

幕末維新ミュージアム、立命館平和ミュージアム、大原三千院 ほか



全ての出来事から今の日本がある

普通科 1年5組

細田 明里

緑が丘中学校出身

日本史セミナーでは、京都のお寺などを自由に散策することができました。町は隅々まで綺麗で京都の方々のおもてなしの心を感じることができました。日本人だけれど普段あまり見ない昔ながらのお庭を見て、長い年月をかけて整備されていることが分かりました。昔の人も同じ景色を見て楽しんでたのだと思うだけでとても満足感がありました。平和ミュージアムでは、ガイドの方のお話が分かりやすく、授業ではあまり触れられなかった日本の戦争について学ぶことができました。今まで知っている気でしたが、それ以上のことを教えて頂きました。とても勉強になりました。全体を通して改めて日本の歴史に触れられたような気がしました。日本のいい所や悲しい過去を一気に2日間で知り、全ての出来事があったからこそ今の日本があるのだと感じました。

弁論大会

2019年12月13日 安城学園高等学校 体育館



不幸が幸せに

普通科 2年10組

伊藤 幹弥

古知野中学校出身

最初は自分のことを大勢の前で話すことに抵抗がありました。しかしクラスの後押しが心強く、発表する頃には言いたいことを伝えたいと思っていました。勇気を与えてくれたみんなへの恩返しとなる弁論ができ、最優秀賞までいただきました。この弁論大会は、人生の転機となり、本当にやってよかったと今では思います。僕を温かく包んでくれたクラスのみんな、真剣に聞いてくれた学年のみんなや先生方、ありがとうございました。

球技大会

2019年12月16日・17日 安城学園高等学校 体育館

商業科は1つ!～一生忘れない～

商業科 3年2組

斎藤 拓海

六ツ美北中学校出身

自分たちはONE TEAMというスローガンを掲げて球技大会に望みました。正直、優勝できるとは思っていませんでした。ですが、みんなでやる気と声を出して優勝をつかむことができました。練習量は他のクラスよりしてきたと思うので、成果が出たと感じました。1,2年生の時は1回戦で負けていたので、高校生活最後の行事、とても良い経験ができました。

商業科 3年2組

小原 早智

高浜南中学校出身

この経験は一生忘れないだろう。私たちのクラスは球技大会で男女アベック優勝を勝ち取った。これは、一人一人がバレーに本気で取り組み、練習を積み重ねた結果である。負けそうになったときや暗い雰囲気になったときは、「大丈夫!できる!!」と声を掛け合い、励ましあい、点を取ったときや試合に勝ったときには、全員一丸となって喜んだ。優勝した瞬間は、商業科で1つになり、「ONE TEAM」と声を出して盛り上がった。



冬のセブ島 英語語学研修

2019年12月22日～28日 フィリピン セブ島

たくさんのことを学んだセブ島留学

普通科 1年1組

池田 光太郎

東山中学校出身

僕はセブ島に行ってたくさんの事を学びました。1つ目は英語の大切さです。フィリピンの生活には英語が必須で、地元のお店の人とのやり取りにももっと英語が話せれば、と思うことが度々ありました。2つ目は、水やトイレや食事などが、日本のあたりまえとは異なっていたことです。日本が恋しくなったけれど新しい経験ができて良かったです。3つ目は、親のありがたみです。1週間自分の身の回りのことを自分でする中で、日頃、親にどんなに助けられているかを実感しました。4つ目はスケールの大きさです。ショッピングモールがとても大きくて楽しめました。また機会があれば行きたいです。

8時間の英語レッスン

商業科 3年2組

後藤 彩七

高浜南中学校出身

私は外国に行くのが初めてで、前日は楽しみと不安でいっぱいでした。市内観光では「外国に来た!」という感動がありました。初めの英会話レッスンでは、先生の言葉が聞き取れず、質問に答えることができませんでした。マンツーマンレッスンでは私が分かるまで優しく丁寧に教えてくれたので、安心して勉強できました。1日8時間の英語レッスンは英語としっかり向き合う時間となり、何が理解できていなかったのかに気付かされました。1週間という短い時間でしたが、充実してとても良い経験ができました。



針供養

2020年1月22日 安城学園高等学校 西館視聴覚教室

針への感謝

普通科 3年7組

足立 絵里

竜南中学校出身

頑張って完成させたドレスを、針供養の場で多くの人に見てもらえたときはすごく嬉しかったです。私はもともと、裁縫がとても苦手で最初は完成させることができるかすごく不安でした。型紙を作っているときは何をしているのかわからなかったし、ギャザーを寄せるときは布が重くて糸がすぐ切れるなど、投げ出したくなることもありました。それを乗り越えドレスを完成させられたのも針のおかげです。これからも針に感謝し、大切にしていきたいです。



創作活動発表会

2020年1月24日 安城市民会館 / 安城学園高等学校

創作活動での学び

普通科 3年5組

小林 和華

安城北中学校出身

1年間の授業を通して幼児と接する上で気をつけなければならないこと、大切なことを学びました。全体発表では、みんな今までやってきたことを全力で出し切っていて楽しく発表できました。園児ならではの明るさ、活発さ、かわいさがあり私も将来それらの良さを引き出せる先生になりたいと思いました。



クラブ活動報告

陸上部

令和元年度東海高等学校駅伝競走大会 過去最高順位の2位!

2019年11月24日 静岡県 1区 磯部早良1年(矢作中) 2区 竹田実紗1年(矢作中)・区間賞 3区 早川想世加3年(大高中)
4区 杉浦花音1年(矢作中) 5区 永谷千宙2年(西尾中)

普通科 3年9組

早川 想世加

大高中学校出身

東海高校駅伝において、安城学園高校史上最高順位の2位という結果を収めることが出来ました。安城学園高校がはじめてトップを走る歴史的快挙に大興奮の試合展開でした。優勝にはあと一步届くことが出来ませんでした。が、下級生が多く活躍してくれたこのチームでの東海2位という結果は、来年度以降にも繋がる大きな結果となり、選手一人一人の自信になったと思います。また、個人では東海の舞台で先頭に立ち、1位で次の選手に襷を繋ぐことができ、チームとしても個人としてもいい形で締めくくることが出来ました。この3年間、コーチの米津先生をはじめ陸上競技部顧問の先生方、仲間やマネージャー、家族など、たくさんの人に支えられ、安城学園での陸上生活はとても充実したものとなりました。今後も陸上競技部の応援をよろしくお願いします。



第38回全国都道府県対抗 女子駅伝競走大会

2020年1月12日 京都府

普通科 1年8組

磯部 早良

矢作中学校出身

初めて愛知県代表に選出され、都道府県駅伝という大きな舞台で走らせていただきました。走れたことはとても嬉しいものでしたが、今回、愛知県のチームの目標であった入賞という目標には届かず悔しさも残りました。しかし、走っている間、遠い京都の地でも「愛知がんばれ」という声がたくさん聞こえて、温かい愛知県チームで走れたことを誇りに思います。また来年強い愛知県のチームの一員として走れるようにこれからも頑張っていきます。たくさんの応援ありがとうございました。



2020日本室内陸上競技 大阪大会

2020年2月1・2日 大阪府

3年 小寺 波音(六ツ美)三段跳 2位

3年 宇野琳太郎(東山)走高跳 5位

2年 濱山 瑞希(安城北)60m 予選敗退

普通科 3年3組

小寺 波音

六ツ美中学校出身

この大会は大阪城ホールで行われ、床にタータンを設置するなど、いつもとは違う室内の環境で行われるものです。そのため地面の感覚が違い、接地のタイミングがとても難しかったです。三段跳に出場し、2位という結果でしたが、順位も記録も満足していません。しかし、2年生までは全国大会出場で精一杯だった私が、今回の結果を悔しいと思える事や、今年度出場した4つ全ての全国大会で入賞出来たことに成長を感じました。まだ3月まで記録会があるので、目標である日本高校新記録が出せるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。





女子バスケットボール

ウィンターカップ2019 第72回全国高等学校 バスケットボール選手権大会出場

2019年12月25日 武蔵野の森総合スポーツプラザ

ONE TEAM

普通科 3年10組

伊藤 芽衣

近江兄弟社中学校出身

私たち、女子バスケットボール部は12月に行われたウィンターカップに出場しました。3回戦敗退でベスト16という結果でした。この試合のためにたくさんの準備をしていたのでとても悔しいです。しかし、目標に向かって取り組んできた毎日は本当に充実していました。一人一人に与えられた役割は違ったけれど、ONE TEAMという言葉に胸に全員で戦い抜くことができましたと思います。たくさんの応援をありがとうございました。



吹奏楽部

台湾招待演奏

2019年12月20日～24日 台湾 嘉義市

台湾遠征 嘉義市国際音楽祭2019

普通科 3年7組

坂田 理乃彩

東港中学校出身

今年、台湾でおこなれた「台湾嘉義市国際音楽祭2019」にお招きいただき、大ホール、路上での演奏、3kmパレード、

フィールドショーなどを行いました。

台湾の方々がとても温かく迎え入れてくれ、たくさんの声援をいただき、楽しくやることができました。また、色々な刺激をもらい、言葉は通じなくても音楽で人と人が繋がることのできる素晴らしさを改めて感じることができました。



クラブ活動報告

吹奏楽部

第32回全日本マーチングコンテスト

2019年11月24日



Victory

普通科 3年10組

中出 陽菜

春木中学校出身

11月24日に行われた全日本マーチングコンテストに9年連続出場、そして金賞を受賞しました。何度もぶつかり合ってうまく行かないこともたくさんあったけど、先輩方の思いを胸に目標に向かって辛い練習も乗り越えてきました。本番ではやってきたことを出し切って、私たちらしい今まで一番の演奏をすることができました。ここまでこられたのは、応援してくださった皆さん、支えてくださった先生方のおかげです。ありがとうございました。



弦楽部

第8回日本学校合奏コンクール 全国大会2019グランドコンテスト

2019年11月3日・23日 福島県、千葉県各所



初の金賞受賞!

普通科 3年8組

石川 愛梨

三好中学校出身

今年も日本学校合奏コンクールに出場することができました。結果は部員全員で演奏したグランドコンテストは銀賞、選抜メンバーで演奏したアンサンブル、五重奏はそれぞれ初めての金賞を得ることができました。また、ソロで出場したチェロ滝本優奈さんが銀賞、ヴィオラ杉浦奈那さんが銅賞を受賞しました。先生方の指導で楽器の奏法やテクニックを学び、上達することができとても感謝しています。本当にありがとうございました。

ダンス部

合同自主公演

2020年1月25日 サルビアホール



最後の合同自主公演

商業科 2年2組

小嶋 彩花

翔南中学校出身

1月25日に行われたダンス部自主公演に、安城学園ダンス部も出演させていただきました。愛知県内のたくさん的高校が集まり、私たちには足りない技術、礼儀などをたくさん学ぶことができました。合同エンディングでは他校のダンス部と交流を深めながら、一つのとても良い作品を創り上げることができました。2年生にとっては最後の合同自主公演でしたが、自分たちの作品も合同エンディングも、どちらも楽しく今までで一番良い作品になりました。

大会・試合結果 2019年10月～2020年1月

◇男子バスケットボール部

- ・ウィンターカップ愛知予選(10/26～11/4) 第4位
- ・西三河地区新人体育大会(1/11・12・18) 優勝
- ・愛知県高等学校新人体育大会(2/1・2・8) 第3位
- ・第33回東海高等学校バスケットボール新人大会(2/15・16) 出場

◇女子バスケットボール部

- ・第74回いきいき茨城国体(10/3～8) 優勝
- 2年 近藤はづき(西遠女子学園)
- 1年 関遥花(内野)
- 美口まつり(相模女子大)
- ・第40回安城選手権(10/5) 優勝
- ・ウィンターカップ愛知県予選(10/26,27,11/2,3,4) 準優勝
- ・ウィンターカップ2019(12/23～29) 3回戦出場
- ・西三河地区新人体育大会(1/11,12,18) 優勝
- ・愛知県新人体育大会(2/1,2,8) 準優勝
- ・第33回東海バスケットボール新人大会(2/15・16) 出場

◇卓球部

- ・令和元年度愛知県新人体育大会卓球競技 第5位
- ・令和元年度東海高等学校新人体育大会ベスト8
- ・第59回東海卓球選手権大会(11月岐阜県) 4回戦敗退
- ・令和元年度西三河高等学校学年別卓球大会(1/26)
- 1年女子 河合美結(益富) 優勝 鈴木涼香(末野原) 準優勝
- 緒方天音(大塚) 第3位 藤原彩花(東山) 第3位
- 2年女子 大竹瑞穂(幸田南都) 第3位 深津柚稀(新香山) 第3位

◇ソフトボール部

- ・令和元年度愛知県高等学校新人体育大会(10/26・27・11/2) ベスト8

◇女子バレーボール部

- ・第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会西三河予選(9/28,9/29) 準優勝 県大会出場(11/16)
- ・令和元年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技西三河予選(1/18,1/19) 第3位 県大会出場(2/8)
- ・第43回全三河中学・高校東西対抗バレーボール大会(高校の部)(1/23) 出場
- ・令和元年度第25回東海私立高等学校男女バレーボール選手権大会(2/15,2/16) 出場

◇バドミントン部

- ・令和元年度愛知県高等学校新人体育大会(11/2・4・10)
- 男子団体 ベスト16
- 男子ダブルス 出場(深津星真・鬼頭良介)
- 女子ダブルス ベスト32(篠原妃和・深谷郁美)
- 女子シングルス ベスト32(篠原妃和) 出場(深谷郁美)
- ・愛知県高等学校学年別大会(1/11・12・13・25)
- 1年女子ダブルス ベスト8(篠原妃和・深谷郁美)
- ベスト32(石丸星・實河原美咲)
- 1年女子シングルス ベスト16(篠原妃和)

◇女子サッカー部

- ・愛知県高校リーグ1部(6月～12月) 第3位 優秀選手賞 北村ほのか
- ・U-18東海プリンスリーグ1部(6月～12月)
- ・東海北信越リーグ(6月～12月)
- ・20年度国体候補選出 伊藤梨那、北村ほのか、青葉結衣
- ・愛知県高等学校新人体育大会(1/11～2/15) 決勝進出

◇男子サッカー部

- ・東北ボランティア 宮城県三陸町(12/26～29)
- ・新人戦西三河予選(1/11、12、18)

◇ハンドボール部

- ・愛知県高等学校新人体育大会
- ・西三河予選(11/3,4,10)第7位
- ・県リーグ(1/18～)

◇アーチェリー部

- ・令和元年度愛知県高等学校新人体育大会アーチェリー競技 6名出場
- ・第40回中日オープンインドア・アーチェリー大会 兼
- 第9回WIN CUPインドア・アーチェリー大会 3名出場
- ・第11回東海高等学校インドア・アーチェリー大会 兼
- Winter Cup2020第12回
- ・高等学校ネットワークアーチェリーインドア大会 1名出場

◇陸上部

- 10月 U18U20日本陸上競技選手権大会(のべ9種目出場)
- 女子三段跳 4位
- 10月 国民体育大会
- 男子走高跳 6位宇野琳太郎
- 女子三段跳 2位小寺波音
- 女子円盤投 近藤未空
- 10月 東海高校新人大会(のべ23種目出場)
- 男子 200m8位、走高跳2位8位
- 女子 100m2位、200m4位5位、800m2位、1500m1位7位8位、3000m1位8位、走高跳7位、三段跳7位、ハンマー投5位、4×100mR2位、4×400mR1位
- 11月 愛知県高等学校駅伝競走大会 3位 早川想世加(3年)区間賞
- 11月 東海高等学校駅伝競走大会 2位 竹田実紗(1年)区間賞
- 1月 全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
- 愛知県代表 磯部早良(1年)
- 1月 全三河駅伝大会 女子優勝・男子5位
- 2月 2020日本室内陸上競技大阪大会
- 女子三段跳2位・男子走高跳5位・女子60m

◇男子硬式テニス部

- ・令和元年度テニス西三河選手権大会(団体の部)(11/2～11/4)
- 団体4位、本間優真・岩月竣弥ペア本戦ベスト8

◇女子硬式テニス部

- ・令和元年度テニス西三河選手権大会(団体の部)(11/2・3)
- 松隈小桃・久保恵理奈ペア本戦出場

◇吹奏楽部

- ・第33回東海マーチングコンテスト(11月三重県)
- 金賞・朝日新聞社賞(1位) 東海代表
- ・第25回日本管楽合奏コンテスト(全国大会10/27) 優秀賞
- ・第32回全日本マーチングコンテスト(11/18)
- 金賞(9年連続6回目)
- アンサンブルコンテスト
- ・西三南地区大会(1/13)
- 金賞8団体(うち3団体代表)、銀賞2団体
- ・愛知県アンサンブルコンテスト(1/26)
- 打楽器八重奏 金賞&代表
- 金管八重奏・クラリネット八重奏 金賞
- ・第46回東海アンサンブルコンテスト(2/9)
- 打楽器八重奏 金賞

◇弦楽部

- ・日本学校合奏コンクール2019全国大会グランドコンテスト(11/23) 銀賞
- ・日本学校合奏コンクール2019全国大会アンサンブル部門(11/3)
- 弦楽五重奏 金賞 弦楽アンサンブル 金賞
- ・日本学校合奏コンクール2019全国大会ソロ部門(11/3)
- チェロ 瀧本優奈 銀賞 ヴィオラ 杉浦奈那 銅賞
- ・クリスマスコンサートinアンフォーレ(12/25)
- ・第25回定期演奏会安城市文化センターマツパホール(2/9)

◇合唱部

- ・安城デンパーククリスマスコンサート(12/21)
- ・シンシア知立慰問コンサート(12/23)
- ・第26回愛知県ヴォーカルアンサンブルコンテスト(1/13) 銀賞・銅賞
- ・第15回定期演奏会 アンフォーレ(2/15)

◇箏曲部

- ・愛知県高等学校文化連盟 日本音楽部門
- 第34回発表会(箏曲・能楽 県大会)
- 「星涼之賦」演奏 優秀賞受賞(1/11)
- ・第2回定期演奏会 アンフォーレ(2/2)

◇美術部

- ・第34回高文連美術・工芸専門部西三河部展(1/22～26)
- ・彩雲展 アンフォーレ(2/7～14)

Topics1

留学生報告

●普通科2年1組 キャロライン・リガリ

私はキャロライン・リガリです。17歳でカナダから来た留学生です。日本に来て夏が大変暑かったです。そしてまわりの環境が母国とまったく異なるものでした。学校ではクラスみんなが優しくて、私の勉強を積極的に教えてくれました。また、他のクラスでの授業もみんな親切にしてくれました。日本の学校行事はいいなと思いました。なぜなら人と人が協力しあう姿と仲が深くなっていくところが素敵に感じました。この学校に迎え入れられて本当に感謝しています。残りの半年間一生懸命努力して日本語の勉強をしていきたいと思っています。



Topics2

創作ミュージカル「背景画」製作

顧問：山盛洋介

第32次創作ミュージカル「Re:Start ～明日の空へ～」の上演に向け、舞台の背景に掲げる書き割り(背景画)をスタッフ総出で製作しました。今回のミュージカルの舞台は、台風で被害を受けた被災地。縦7m・横13mの巨大な布に、生徒と教員がペンキだらけになりながら、2日間かけて被災地の風景を描きました。卒業フェスティバルと新入生歓迎会で上演するほか、4月10日(金)には保護者・市民の方々にもご覧いただける一般公演を行います。多くの方々のご来場をお待ちしています。



Topics3

生徒会活動報告

後期生徒会役員

後期生徒会を振り返って

全校生徒と生徒会が繋がり、みんなで協力し安城学園をよりよいものにするということを目指して、後期方針を「Tie-up」と決めました。

秋の助成金学習会、街頭署名、冬の全クラブ取材を柱に日常的な代議員活動を行い、また意見箱に入っていた意見を取り入れ校則改正に向けて動いています。そして、第32次創作ミュージカル、卒業フェスティバル、新入生歓迎会の成功に向けて取り組んでいます。



後期 生徒会 メンバー 紹介

生徒会長	2年	日紫喜 えり	(篠目中学校出身)
副会長	2年	三浦 夏乃	(安城西中学校出身)
書記	2年	横山 紗也	(末野原中学校出身)
文書	2年	森谷 莉来	(碧南中央中学校出身)
会計	2年	永江 優奈	(平坂中学校出身)
会計	1年	加藤 みなみ	(甲山中学校出身)
渉外	1年	玉置 嶺雄	(福岡中学校出身)
渉外	1年	矢野 心絵	(栄中学校出身)